

患者さまとご家族に安心と信頼をお届けするマガジン／

はつらつ通信

2019.1.1 January vol.152

発行：医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集：はつらつ通信局



年頭のびあつわし



新年あけましておめでとうございます。また昨年、北海道胆振東部地震により被災された皆さまにおきましては謹んでお見舞い申し上げます。

昨年の大きな出来事と言えはやはり北海道胆振東部地震とそれに伴うブラックアウトであるかと思えます。皆さま方におかれましても大変な体験をされたと思いますが、人工呼吸器装着患者さま、また長期療養されている透析患者さまなど多数が入院されている当院にとっても、まさに長時間停電は患者さまの命にかかわる深刻な事態でした。しかし職員をはじめとする関係者の献身的な働きによって電力復旧までのおよそ30時間、大きな問題もなく乗り切ることが出来ました。

まさに今回の地震は患者さまの命をお預かりしている責任の重さを再確認させられる出来事でありました。そして今回の経験を教訓に当院としては危機管理委員会を立ち上げ、未曾有の災害時に対応できる体制を整えていく次第であります。

昨年の年頭あいさつでは「質」と「和」と「温」のキーワードを大事にしたいと述べました。本年も引き続きこれらのキーワードを大事にしながら、さらに今年は「新」というキーワードを加えたいと思います。これは今回の災害を通じて学んだことを生かして、私を含め当院職員それぞれが新たな気持ちで日々の診療を行ってほしいという願いとともに、病院としても新しい事にチャレンジしていく一年でありたいという期待を込めました。そして入院患者さまとご家族、地域の方々に健やかに過ごしていただけるよう、職員一同頑張っていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



医療法人北志会
理事長 志田 勇人



部門紹介 PART 1 外来

健康づくりから介護への橋渡しまで

地域のホームドクターとして

病歴や体質など患者さまの状況をよく知る外来は、診察を通じて地域の方々の暮らしも見守ります

長いおつきあいが心身の変化を察知

今号で取り上げる部門は外来です。診療科は般内科、整形外科（週2日）、皮膚科（週2日）で、内科には糖尿病代謝内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科があり、ピロリ菌外来と予約制のもの忘れ外来を設けています。診察時間は平日が午前9時～午後5時（午後12時30分から1時間は昼休み）、土曜が午前9時～正午となっております。皮膚科外来は12月からスタートしました。専門医が診察しています。



待合ロビーには目に楽しいアートと心癒す音楽



外来の職員は看護師7名とクラーク1名の全8名



外来の若杉ひろ子師長

独居の高齢者が多い地域なので、「患者さまには長く通院されている、高齢の方が多くですね」と若杉ひろ子師長。「長く診ている医師や看護師は患者さまの生活スタイルや家族構成などを理解し、身体変化にも気づきやすいので、そろそろ介護保険のサービスを利用しては？と勧めることもあります」と若杉師長。院内に

地域に根ざす 当院ならではのケア

企業健診では多数の受診者に効率よく動いていただく必要があります。外来では3年前の院内発表会で受診カードを用いた業務効率向上の取り組みを発表。それが職員の意識付けを促し、現在ではカードを用いずに職員間の声か



書類管理も外来職員の大切な業務



診察室で医師が指示出し

ケアマネジャーのいる居宅介護支援事業所やデイケアがあるので、情報共有が円滑にできるのは当院の外来ならではの強みです。

健診や教室開講で健康づくりにも注力

本庄恭補院長が糖尿病専門医であることから、当院では6年前の7月から糖尿病教室を定期開講し、外来の看護師も運営をサポートしています。お茶とお菓子が用意される茶話会のような雰囲気、常連受講者には糖尿病ではない方も少なくありません。若杉師長は健康づくりに役立ててもらえるとうれしいと喜びます。地域の方々の健康を守るため、外来では健診にも積極的に取り

けて受診される方々の待ち時間短縮が実現しているといえます。「地域の方々に良いケアを提供するのが私たちの役目」と若杉師長。長年地域医療を担い、地域とともに歩んできた医療機関だからこそできるケアを提供するため、若杉師長をはじめとする外来の職員たちは日々努力を重ねています。



胃や大腸を検査する内視鏡室



インフルエンザの予防接種

糖尿病教室、毎月開講中

2人の専門職×30分トーク 糖尿病がテーマの茶話会

管理棟3階会議室で毎月第4火曜の午後2時から1時間

※変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。

医師や看護師、管理栄養士などの専門職が毎回異なるテーマで講話。お茶菓子をご用意してお待ちしています。

受講無料

ご予約不要。当日会場へ直接お越しください。

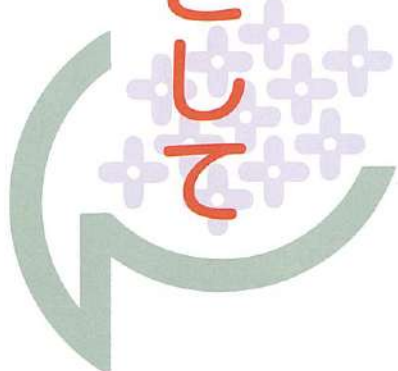
〈今後の予定〉

●1月22日(火)午後2時～ ●2月26日(火)午後2時～



看護師が注射や採血など行う処置室

組んでいます。2名の消化器内科医がおり内視鏡の設備がある特色を生かし、内視鏡検査をオプションで提供。企業健診では胃がん検診にバリウムを飲む×線検査ではなく胃カメラを求める方の多く、当院が健診施設に選ばれる理由のひとつとなっております。



医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 一、患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二、専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三、職員は、責任と誇りをもち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 四、職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

恒例の小中学生作品展、第4回も好評終了 足を止まらせる力作がずらり

地元の児童たちの 水彩画や書道の作品

昨年 11月15日(木)～12月18日(火)の日程で、4回目となる「小中学生作品展」が行われました。毎年子どもたちの元気あふれる作品を楽しみにされている患者さまも多く、「びょういんあーとぶるじえくと」と並ぶ恒例のアートイベントになりつつあります。

地域の児童の作品は、豊平区町賞受賞作をはじめとする



計14点。旭小学校、みどり小学校、中島小学校といった地域の方々がよく知る小学校の児童が多く、お孫さんの作品を見るために来院されたという方もいらっしゃいました。



作品展を話題に コミュニケーション

全国からの作品は過去の受賞作を含む選りすぐりの計8点です。第24回外務大臣賞受賞の「信仰と結末」はタイの小學生が仏像に色を塗る様子を描

いた水彩画で、ミニアチュールを連想させる繊細な筆致。ほかにも大胆なアングルや色使いの水彩画や書道など、見る人が思わず足を止める力作が並びました。

期間中は、地域の小学校や作者である子どもたちについて、個性いっぱい作品について、患者さまや職員の間で話題となることも多く、作品展はコミュニケーションを深める良い機会にもなりました。



札幌ライラック病院は、 機能強化型 在宅療養支援病院です。

機能強化型在宅療養支援病院とは、
下記の要件を満たした病院です。

- ・3名以上の医師が在宅訪問診療に配置
- ・緊急での往診実績が年間10件以上
- ・看取り実績が年間4件以上



送迎付き 企業健康診断

当院では、企業が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般の健診とは別体系の料金を設定しています。

無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

例)基本健診(聴力・視力・尿・貧血・脂質・血糖・肝機能・胸部X線の各検査、身体測定、問診)

企業料金 **4,000円**



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

☎011-812-8822

診療時間 [平日] 9:00~12:30
13:30~17:00
[土曜] 9:00~12:00

面会時間 [平日] 14:00~20:00
[土日祝] 12:00~20:00

URL <http://www.lilac.or.jp>

